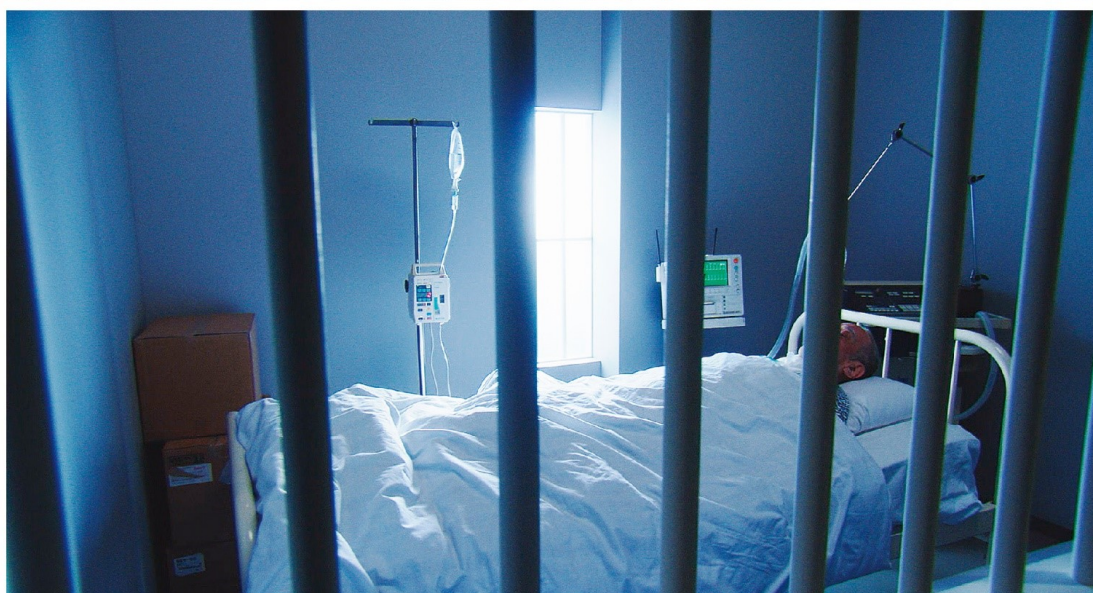


映画上映会 再審法改正を考えるシンポジウム

～日弁連再審法改正全国キャラバン～

先着150名
予約不要
参加無料

名張毒ぶどう酒事件・奥西 勝(89)、袴田事件・袴田 巖(79)



再審への扉——。いまだ、開かれず

ふたりの死刑囚

『約束 名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯』東海テレビ最新作

ナレーション: 仲代達矢 プロデューサー: 齊藤潤一 音楽: 本多俊之 音楽プロデューサー: 岡田こすえ 撮影: 坂井洋紀 音声: 福田健太郎 オーサング: 山口啓生 スクリプター: 須田麻記子
音響効果: 久保田吉根 CG: 東海タイトル・ワン 題字: 山本史鳳 監修: 門脇康郎 映像協力: テレビ静岡、フジテレビ、アニドゥ・フィルム 写真協力: 中日新聞社 編集: 奥田繁
監督: 鎌田龍香 制作・著作・配給: 東海テレビ 配給協力: 東風 2015年/85分/HD/16:9/日本

www.futarinoshikeisyu.jp

(c) 東海テレビ放送

日時: 令和5年7月2日(日) 13:30～17:00 【13時開場】

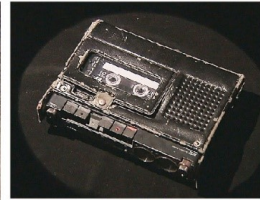
場所: 山梨県立図書館多目的ホール(2階) 甲府駅北口徒歩3分

主催: 山梨県弁護士会 共催: 日本弁護士連合会 関東弁護士会連合会



2014年3月27日、ひとりの死刑囚が釈放された。

袴田巖 (79 歳)。昭和 41 年、静岡県清水市 (当時) の味噌会社で 4 人の焼死体が見つかった「袴田事件」。袴田は確定死刑囚となった。再審開始の決定は、有罪の決め手になった血に染まった衣服の DNA 鑑定の信憑性。48 年ぶりに釈放された袴田は、3 歳年上の姉と生活を始めた。しかし、自由になったはずの袴田も、検察の即時抗告によって再審は始まっていない。いまだ死刑囚であることには変わりはなく、年金もなければ、選挙権もない。長年の拘置所生活による拘禁反応で、精神に障害が残っている――。



2015年10月4日、ひとりの死刑囚が獄死した。



奥西勝 (享年 89 歳)。昭和 36 年、三重県名張市の小さな村の懇親会で、ぶどう酒を飲んだ女性 5 人が死亡した「名張毒ぶどう酒事件」。奥西は 35 歳で逮捕され、死刑が確定したが、獄中から無実を訴え続けた。半世紀に及ぶ独房生活、その間、奥西は 2 桁を越える囚人が処刑されるのを見送った。ここ 3 年間は、八王子医療刑務所で寝たきりの生活を送っていた。奈良県の山村に暮らす 4 歳年下の妹が、兄の無実を信じ、片道 5 時間をかけて八王子へ通い続けていた――。

ふたりの冤罪を訴え続ける死刑囚とその家族の人生から浮かび上がるのは、「法治国家」日本の司法が裁いた、否、犯した罪だ。製作は東海テレビ放送。『約束 名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯』の齊藤潤一が本作をプロデュースし、そのメガホンも鎌田麗香が引き継いだ。同作で奥西勝を演じた仲代達矢がナレーションをつとめる。奥西の無念の死を受け、緊急公開を敢行する。

www.futarinoshikeisyu.jp

(c) 東海テレビ放送

【プログラム】

第一部 映画上映会(85分)

映画「ふたりの死刑囚」

第二部 パネルディスカッション

コーディネーター 藤巻俊一 弁護士

(山梨県弁護士会 刑事弁護センター 刑事法制部会部会長)

【ゲストのご紹介】

神山啓史 弁護士



1955年生まれ
1983年弁護士登録
第二東京弁護士会所属
2014年～2018年司法研修所教官
名張毒ぶどう酒事件弁護団の一員
東京電力OL殺害事件や足利事件でも弁護人を務め再審無罪を獲得した

水野智幸 弁護士



法政大学法科大学院教授・弁護士
1962年生まれ
1988年～2012年裁判官
2016年弁護士登録
第一東京弁護士会所属
袴田事件弁護団の一員
日弁連再審法改正実現本部委員
フジテレビ系テレビドラマ「イチケイのカラス」や「女神の教室～リーガル青春白書～」の監修を務める

お問合せ先：055-235-7202(山梨県弁護士会)

※イベント当日は繋がりません。ご了承下さい。

山梨県弁護士会

検索